

# 病虫害発生速報

令和4年9月21日  
第9号

対象作物：ねぎ

発信元 山形県病虫害防除所  
TEL 023-644-4241(内陸)  
0235-78-3115(庄内)

**題名：ハスモンヨトウの飛来数が急増し、被害が発生！  
速やかに圃場を見回り、被害初期に防除を！**

## 1 発生概況

- (1) フェロモントラップ（PT）の誘殺数は9月1半旬から急増し、9月1半旬から9月4半旬までの総誘殺数は地区予察圃場（鶴岡市）で多く、農業総合研究センター（山形市）でやや多い（図）。
- (2) 9月後半に実施した巡回調査（9月20日）の結果、秋冬ねぎにおけるハスモンヨトウの平均被害株率は2.0%（平年（ヨトウムシ類）：0.9%）と高い。
- (3) 向こう1か月の気温は高いと予報されており、ハスモンヨトウの増殖及び活動が活発になると推測され、被害の拡大が懸念される。

## 2 防除対策

- (1) 速やかに圃場を見回り、早期発見に努める。
- (2) 卵塊や、ふ化直後の幼虫の集団が見られる葉は、取り除き適切に処分する。
- (3) 幼虫の齢期が進むにつれ防除効果が低下するため、卵塊確認時や若齢幼虫期に薬剤防除を行う。なお、薬剤防除を行う場合は、薬液が株全体に十分かかるようていねいに散布する。

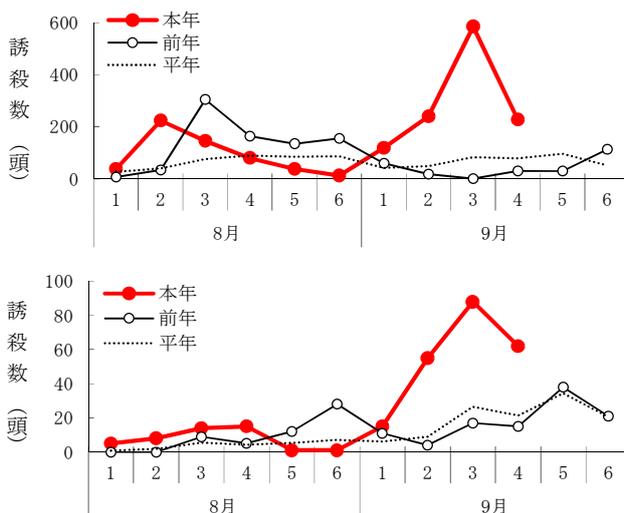


図 PTによる誘殺数の推移

（上：地区予察圃場 鶴岡市、下：農業総合研究センター 山形市）



写真 ねぎの被害の様子  
（令和4年9月20日撮影）

農薬の使用に当たっては、農薬使用基準（適用作物、収穫前使用日数、使用回数等）を遵守するとともに、隣接地や周辺作物へ飛散しないよう十分留意し、農薬の使用後は防除日誌の記帳を行う。